

6年4組 学級活動実践報告

議題

6の4からあいさつを広げよう

提案理由

最近、本太小のあいさつ運動をする人が減って学校に元気がなくなってきています。私たちは、バスケットボール大会に向けた練習であいさつ運動ができなかったので、6の4からあいさつを広げる取組をして本太小をもっと明るく元気にしていきたくて提案しました。

話し合うこと①

どんなやり方であいさつを広げるか

廊下であいさつをすると思います。朝でなくても、すぐにできるからです。



委員会などで30分休みはできないこともあるから、終わるころに校庭からの帰り道のところでなら、できると思います。

【決まったこと】

朝・30分休み・下校時に3か所に分かれて毎日あいさつ運動をする。

話し合うこと②

あいさつプロジェクトを盛り上げる工夫

他の学年にもあいさつを広げられる工夫はありますか。



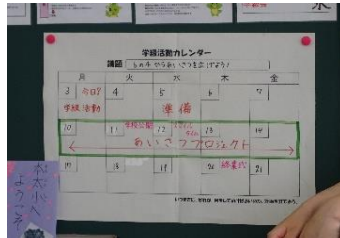
低学年のときにあいさつポスターをよく見ていたので、ポスターを作るとあいさつが広がると思います。

【決まったこと】
ポスター作り
ハイタッチをしてあいさつ
あいさつマラソン

話し合うこと③

役割分担

学級活動カレンダーを見て、計画的に進めていこう。



【決まったこと】

ポスター作りの割り振り、
あいさつマラソンカード作り

指導・講評

さいたま市教育委員会指導1課指導主事 有本 靖 先生

- ・提案理由や決まっていることを意識して、話し合うことができていた。
- ・教師が話すときに、司会の子たちに断わって手を挙げて話していたのがよかった。
- ・意見をもっているのに発言できない児童がいる場合には、近くの子と話す時間を少し取って、話せる子が代わりに話すという方法もある。
- ・教師の終末の話で、折り合いをつけられた子を取り上げて褒め、次回への課題も話せるとよい。
- ・あいさつプロジェクトが終了したら、今回のことを生かして続けていくことが大切である。

成果と課題

○成果 ●課題

- 自分たちの学年だけでなく、他学年のことを考えた発言ができていた。
- 自分たちがやろうとしていることが、実際にできるかということについて、よく考えて折り合いをつけている様子が見られた。
- 朝や休み時間など、時間の制約や当番などもあるので、もっといろいろな面から考えて意見が出せるとよい。